

2017年度 北海道科学大学建築学科主催講演会

「新国立競技場の構造デザイン～制振構造の新たな挑戦～」を開催

本学建築学科学生の実務に関する教育の一環として、毎年数回、実務者による講演会を開催しております。本年度は、第1回講演会として10月6日（金）に大成建設(株) 設計本部 副本部長 細澤 治 氏により、建築学科主催の講演会「新国立競技場の構造デザイン～制振構造の新たな挑戦～」を開催いたしました。

講演会では、2020年開催の東京オリンピックに向けて建設中の新国立競技場について特徴を解説いただくとともに、日本らしさを追求した木質架構の実現する方法や耐震性能を確保するための新たな制震構造の構法およびその構法の安全確認のための解析方法について詳細な説明をいただき、改めて、建築は総合的な技術を持って建設されている事をご講義いただきました。

本学建築学科学生にとって、建築の構造・施工に関する最先端技術や実務を知る、貴重な講演会となりました。

